

(株)イーピーメントと(株)総合臨床サイエンスが合併し SMO業界No.1企業(株)EP総合が発足

医薬品業界を取り巻く事業環境が厳しさを増すなかで、製薬会社は、医薬品開発の迅速化・効率化を目指したアウトソーシングを積極化させています。これに伴いSMOサービスの品質や価格、スピードに対する要求も一層厳格化しつつあります。

2016年1月の総合臨床ホールディングスとの経営統合によって、SMO業界最多のCRC1,000名体制を擁するに

至ったEPSホールディングスは、こうした経営環境の変化に機動的に対応していくため、当初の計画を前倒して2016年5月にSMO事業会社2社の統合を実施しました。新たに発足した株式会社EP総合は、両社が強みを持つ事業エリアや提携医療機関、疾患領域などを相互補完することにより、市場において質・量ともに圧倒的な競争力を有するSMO企業となりました。

EP総合 田代社長からの メッセージ

合併によるシナジー効果を最大限に発揮し、 医療・ヘルスケア業界の高度なニーズに応えていきます

EP総合は、今回の合併によるシナジー効果を最大限に発揮しながら、ますます高度化するお客様のニーズに迅速に応えていきます。その実現のために、ビジネスプロセスの改革やIT化を積極的に推し進め、臨床試験支援業務の効率化、スピードアップを図っていきます。また、がんやアルツハイマー病といった高難度領域の臨床試験ニーズが増大するなかで、質の高いSMOサービスを提供するためには、プロジェクトのとりまとめ役を担うCRCのスキルや経験が一層重要になります。そこで、当社では、CRCの能力開発機会の拡大やキャリアサポートを

強化すると同時に、CRC一人ひとりが持てる能力をフルに発揮できるように、より働きやすい職場環境の実現に力を注いでいきます。

さらに、EPSグループの総合力を駆使して、CRO／SMO／CSOが一体となった高付加価値サービスや、提携医療機関の業務革新に寄与する新サービスの創出にも挑戦します。EP総合は、業界のリーディングカンパニーとして、これからもSMOビジネスの高付加価値化を牽引し、医療・ヘルスケア業界の発展に貢献し続けていきます。

代表取締役社長 田代伸郎

EP総合の特長

業界唯一の
売上高

100億円超

業界唯一の
シェア

30%超

業界最大の

CRC 1,000名体制

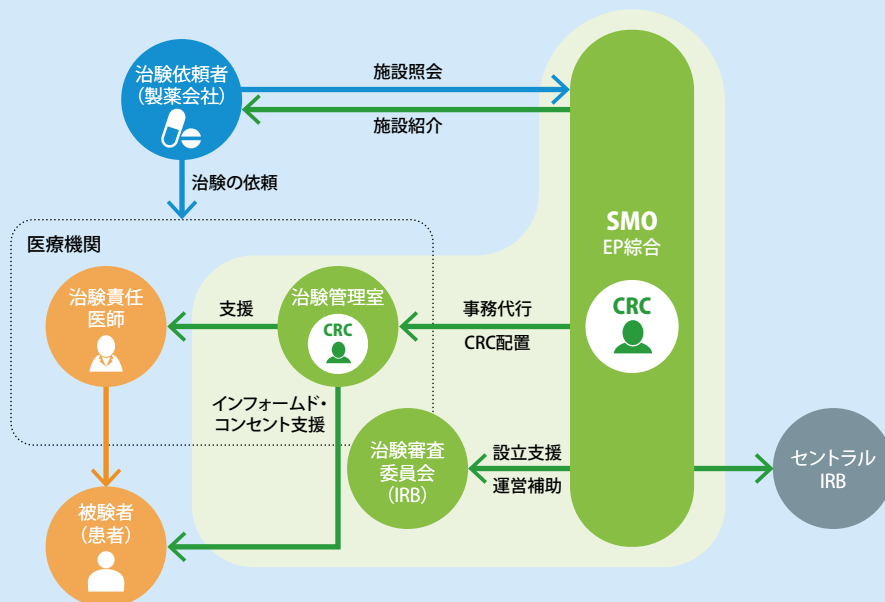
業界最大の提携医療機関

5,600施設

SMOとは

SMO^(注1)は、治験実施施設(医療機関)と契約し、GCP^(注2)に基づき、適正で円滑な治験が実施できるようにトータルに支援しています。

治験コーディネーター(CRC)が、被験者と医師、さらに製薬会社との橋渡しの役割を果たし、治験の進捗をサポートしています。



(注1) Site Management Organization (治験施設支援機関)の略。

(注2) Good Clinical Practiceの略。被験者の人権と安全性の確保、臨床試験のデータの信頼性の確保を図り、適正な臨床試験が実施されることを目的として定められた法律。